

福通信

皆とつくるサロン！再始動！ -幸の会・西-

コロナの影響により休会した、いきいきサロン幸の会・西が活動を再開しました。
4年ぶりの再開は、「そろそろ集まろうか…」と自然な流れだったそう。
「感染対策が大変だったら…開催の方法をカンタンにすればええやん!!」と前向きに捉えて、サロンのカタチを“変えました”。
一応サロンスタッフはいるけれど、「できる人ができることをしよう」とお客様の垣根を撤廃。

“ゆとり”を大切に

「皆が楽しくないと意味がない!」との思いを大切に、新しい幸の会・西が始まっています。



幸の会・西 スタッフの皆さん

地域の方とともに…-サロンほほえみ-

サロンほほえみは、妙寺地区に令和6年2月に誕生した新しい地域の居場所です。
発足のキッカケは、あるひとり暮らし高齢者の「気軽なお茶会があったらいいな」との声。
代表である藤本賀津雄さんは退職後、“お世話になった地域に恩返しをしたい”との思いをもっていました。そんな時に民生委員就任の打診があり、前任からの引継ぎのひとつに“地域にサロン”がありました。思いとタイミングが重なり、サロンほほえみはスタートしました。
「何より地域の人たちが楽しんでくれていることが嬉しいです」と藤本さん。

“皆が主役”

サロンの内容や日程は都度参加者の意向を聴き、その時々に合わせているとのこと。
藤本さんは、サロンをひとつのキッカケに、地域の人同士が仲良く過ごしてくれればいいと語ってくれました。



藤本 賀津雄さん



サロンメンバーの皆さん

踏み出す一歩。

新たなサロンと再出発サロン

つながりを大切に -志賀ふれあいサロン-

「“人の喜びは我が喜び”昔から知っているみなさんに生まれ育った志賀で喜んでもらいたい。」との谷口代表の思いから令和6年4月にスタートした志賀ふれあいサロン。
令和5年に新設した志賀公民館が、地域拠点になっていたことが後押しになりました。
思いに賛同したメンバーが集まり、アイデアを出し合い楽しい活動を企画中。

秋の大運動会



風船あおぎ対決



風船わり



パン食い競争



じゃんけん列車

さそいあい

参加者の声かけが広がり、回数を重ねるごとに1人2人と参加者が増えてきているそう。
“つながりを大切に”みんなが笑顔になれる活動がスタートです。

いつも通りの自分で! -サロンすずらん-

「喜んでもらえたことが心に残っていたから。」
サロンすずらんは、平成27年から令和4年まで活動していた東浜田高齢者サロンつくしのスタッフ4名が再集結し、令和6年4月に再始動した東浜田地区の集いの場です。
「普段のつながりがサロンにつながっている。だからみんな仲が良いんですよ。」とスタッフのみなさん。

少しでも長く元気で過ごすために

「“いつも通りの自分で参加できること”を大切に、他の地域を参考にしながら、モノづくりや清掃活動など色んなことに取り組みたい! 気軽に・楽しい集いの場を目指します」と今後の思いを聞かせていただきました。



活動の様子(おしゃべり)

【発行】社会福祉法人 かつらぎ町社会福祉協議会 地域係
住所:和歌山県伊都郡かつらぎ町丁ノ町2338-2
電話:0736-22-4311



ホームページ



Facebook



Instagram